

幼保連携型認定こども園「大和こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ケ年計画)

●教育保育目標

- ・自ら考え、判断し、表現する子
- ・思いやりのある子
- ・粘り強く取り組む子

～ 愛されていると感じる空間に ～

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画	給食室改修工事				

●人事計画目標

- ・若手の育成を念頭に OJT 及び県内外への視察研修を実施し実践力を高める。
- ・園内研修及びカンファレンスを生かした資質向上を図る。
- ・職員育成・評価シートと連動した面談から、キャリアパスフレームに基づいた意識の向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的な受講を勧め、一人一人へのキャリアの構築を図る。

●業務の改善

- ・ノンコンタクトタイムの確保
- ・効率化のための ICT 化の推進

●収支計画目標

- ・適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・本園の新たな教育保育目標への理解を深め、その具現化を図る。
- ・年間の教育・保育計画は、5つの領域の内容が総合的に含まれるよう配慮し、知識・技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力や人間性といった資質・能力を育む。
- ・作成した年間指導計画を基に、月ごとに望ましい子どもの姿、保育者の意図等を踏まえ、職員間で共通理解した月目標を定め、生活全体を通して様々な価値ある体験が積み重なるよう計画的に実践する。
- ・毎日の活動の振り返りを子どもと行い(満3歳以上)、子どもの思いや考えを把握し、意図的・継続的・計画的な保育の展開の定着を図る。
- ・小学校との円滑な接続となるよう子どもの様子を資質・能力の3つの柱や「10の姿」を通し、意見交流を図る。
- ・運動会や生活発表会等の行事は日々の保育の延長と位置付け、子どもの主体性を生かした課題解決型の取り組みとする。

●食育計画

- ・保育者と連携・協力し、健康な生活の基本として食を営む力を育て、食への関心や態度を養い、望ましい食習慣の育成を図る。
- ・子どもが生活や遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ねられるよう全職員が協力し、食育活動の創意工夫を図る。

●保健衛生計画

- ・子ども一人一人の成長発達を把握し、身体的・精神的変化を見逃さず、対応を行う。
- ・保育室内の環境衛生を整え、感染症を予防する。
- ・フツ化物洗口に取り組む

●外国籍児童対策

- ・ブラジル国籍児への対応としてポルトガル語の通訳翻訳担当専任職員を配置し、異文化理解のもとに支援を行う。
- ・外国籍保護者同士の交流の場を持つ。

●地域との連携

- ・豊かな生活体験を得られるよう地域の資源を活用する。
- ・地域の関係機関との連携やHPによる啓発を通して子育て支援を行う。
- ・災害時の協力や交流活動への参加を図る。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等 I、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等 II/III、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	分園実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国籍児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	137,000 円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	該当なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	273,000 円/年	前年実績
住居支援事業	1,604,500 円/年	利用予定

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	185
				5	3	7	15	
2号				30	30	30	90	▲40
				23	32	27	82	
3号	20	30	30				80	(84.8%)
	2	25	33				60	

幼保連携型認定こども園「松陽こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心身ともに健やかな子ども」

げんきなからだ・やさしいところ・がんばるちから

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・0JTの実施により若手職員を育成し実践力を高める。
- ・職種にこだわらずキャリアアップ研修の計画的受講を勧め一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・職員育成・評価シートを活用し自己の役割を振り返ると共にキャリアフレームに基づいた意識の向上を図る。
- ・優秀な人材確保に向けて実習生を積極的に受け入れ、細やかな対応や指導に努める。
- ・園内研修、公開保育等から園全体で質の高い保育を目指す。

●収支計画目標

- ・適切な予算の執行に努め収支の安定を図る。

●業務の改善・働き方改革

- ・業務効率化のためICT化の推進を積極的に行い、働き方改革への意識を園全体で共有する。
- ・職員の協働性を養うため、職制の違いによる職務の内容を明確にする。また、「お互いを思いやる気持ち」を持った関係性の醸成を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもたちの興味、関心の持続から「探求」につながっていく遊びを見つめ保育記録から振り返り職員間での対話を重ねる。
- ・クラスの枠を越え職員全体で子ども一人一人の育ちを支える保育を目指す。

●食育計画

- ・保育者と連携・協力し、健康な生活の基本として食を営む力を育て、食への関心や態度を養い、望ましい食習慣の育成を図る。
- ・さまざまな食育活動の中で子どもたちが人や食材とふれあい自然の恵み、職に関わる人への感謝の気持ちや食と生命の関わりを知り命を大切にすることを育む。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、病気の予防など必要な活動を推進する。
- ・園内の環境衛生を整え、感染症の予防をする。

●子育て支援計画

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供を行う。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、地域子育て支援の充実を図る。(育児相談・一時預かり)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の強化を図る。
- ・地域の方々(畑の先生他)との交流活動を持続し充実させる。
- ・HPや情報誌を通し地域に開かれた園として情報発信を積極的に行う。

●小学校との接続・連携

- ・授業、行事、懇談等を小学校の子ども及び教職員と情報交換を密に交流活動を実施し小学校と園との関係性を構築する。
- ・小学校による園の行事見学(運動会・発表会)公開保育を通して、幼児教育への理解を深める機会を設ける。

●外国籍児童支援

- ・ブラジル国籍児にはポルトガル語の担当専任職員を配置し異文化理解のもとに外国籍児童支援をする。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国籍児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

元気つっこまつ	122,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施予定
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	225,000円/年	前年実績
住居支援事業	318,000円/年	利用予定

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	155
				4	7	4	15	
2号				26	28	26	80	142
				26	28	24	78	
3号	13	21	26				60	(91.6%) 対前年 +1
	3	20	26				49	

幼保連携型認定こども園「月津こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ケ年計画)

●教育保育目標

心身ともに健康な子ども 自然を大切にする子ども

自分で考えて行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画	太陽光発電装置設置工事完了	ランチルーム改修工事計画	ランチルーム改修工事実施		

<備考>

子どもの安全と環境を整える。ランチルーム兼休憩室改修工事計画を立てる。(補助事業助成金を有効活用)

●人事計画目標

- ・新採獲得を目指して SNS を利用したり大学などへ出向している、保育教諭のやりがいや魅力を伝える。
- ・OJT による若手の育成。
- ・外部講師による園内研修の充実。

●収支計画目標

- ・今後、園児の減少が見込まれるため、それに見合った定員を考えていく。
- ・適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・「豊かな自然環境」の中での活動や「地域の人たちとともに子どもを育てていく環境」を活用した様々な体験活動などを通して「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を育てていく。
- ・子ども一人ひとりの主体性を尊重し、受容的で応答的な教育・保育に努めいく。

●食育計画

- ・空き部屋を活用してのランチルームでの食事形態を進めながら次年度に向けてランチルームとしての活用方法を給食職員とともに模索していく。
- ・野菜作りを通して育てる喜びを味わったり、自然への感謝の気持ちを持てるようになっていく。またクッキングを楽しむことにより食材に触れたり匂いを嗅いだりしながら五感を育んでいく。
- ・お味見当番や配膳の手伝い等の経験を通して食のプロセスにより興味を持つようになる。また、食を味わい、表現し、友達や家族に伝えることで感覚が豊かになっていく。

●保健衛生計画

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進に努める。
- ・疾病等(体調不良児・感染症対策)への対応。引き続き、感染症対策の徹底。家庭への協力等も随時発信していく。
- ・食物アレルギー対応における体制を確立する。園児の現状を把握し、相互の共通理解及び連携を図る。(保育教諭・看護師・栄養士等)
- ・子どもたちに向けた健康支援を行うことにより、自分の体や健康に興味・関心を持てるようにする。

●子育ての支援計画

- ・子どもの最善の利益を踏まえ、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て支援の充実。(子育て親子の交流の場の提供、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供)

●地域との連携

- ・災害時における月津校下との協力体制を図る。結ネットの効果的利用。月津校下の防災士連絡会に参加し情報共有。防災士による講話(園児、職員対象)
- ・地域交流会の実施。(教育・保育の理解と地域との連携)

- ・地域行事に積極的に参加し、園行事にも参加していただく。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。(結ネットで発信)
- 小学校との接続・連携
 - ・年長担任と1年生担任との連携。授業見学をしたり園での教育・保育を見学したりして連携を深めていく。
 - ・学校探検と授業体験をする。
 - ・校長と園長の意見交流により相互理解に努める。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用あり	実施

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	98,000 円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	152,000 円/年	前年実績
住居支援事業	246,000 円/年	実施

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	105
				8	2	5	15	
2号				15	15	15	45	95
				17	15	18	50	
3号	15	15	15				45	(90.4%) 対前年 ±0
	2	12	16				30	

幼保連携型認定こども園「中海こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画

●教育保育目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子ども
- ・感性豊かな子ども
- ・思いやりのある優しい子ども
- ・自分で考え、進んで行動できる子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

<備考>

●人事計画目標

- ・正規総合職の確保(新卒採用を含む)
- ・積極的な実習生の受け入れとアルバイト学生の雇用促進
- ・キャリアアップ研修等の計画的な受講を勧め、一人一人のキャリアの構築を目指す。

●収支計画目標

- ・地域の実情に合わせて利用定員65名を維持する。
- ・無理、無駄なく計画的な予算執行に留意する。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子どもの安心と安全を第一に、主体性を生かし、環境を通して行う教育・保育の充実を図る。
- ・異年齢による教育・保育を推進する。縦割り保育では、職員間の連携を密に信頼関係を大事にし、風通しの良い職場環境づくりをする。
- ・地域の環境や人材を生かした教育・保育を推進する。

●食育計画

- ・野菜栽培や調理等、食に関わる体験を積極的に取り入れるとともに、地元で採れた野菜の提供を心がけ、食や食材に関する興味や関心、感謝の気持ちを育む。
- ・年齢に応じた食事のマナーを身につける。

●保健衛生計画

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進める。
- ・疾病や感染症等への対応(体調不良児、感染症対策、個別ケア等)を家庭と協力・連携しながら徹底する。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- ・支援の必要な親子の把握に努め、地域の子育て支援の充実を図る。(育児相談、情報誌発行、子育て親子の交流の場の提供など)

●地域との連携

- ・地域との交流活動や地域の環境資源を取り入れるとともに地域文化の継承(仏御前、剣舞)を大切にする。
- ・園だよりや情報誌等を配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。
- ・福祉、食育、環境、防災その他で地域の各種団体との連携を図る。

●小学校との連携・接続

- ・年長児の小学校生活への不安をやわらげ期待を持てるように小学校との交流を図る。
- ・小学校と園との関係性を構築する。
- ・園長と小学校長間の情報交換を図る他、園と小学校が互いに関係者評価者となり、自己評価結果を通して互いの教育・保育に理解を深める。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等I、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	副園長・教頭配置、外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、処遇改善等II/III、冷暖房費、栄養管理
	未実施	除雪費、降灰除去費
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	81,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	97,000円/年	前年実績
住居支援事業		利用なし

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	65
				4	7	4	15	
2号				8	8	8	24	55
				8	5	5	18	
3号	6	9	11				26	(84.6%) 対前年 ▲6
	0	5	17				22	

幼保連携型認定こども園「蓮代寺こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

- 「健康な心と体」
- 「あふれる意欲と好奇心」
- 「豊かな感情と道徳性」

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
- ・職員研修規程の積極的運用、キャリアパスフレームに基づいた職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。
- ・OJTの実施による若手職員の育成。
- ・学生アルバイトの募集。

●収支計画目標

- ・園児数の確保と職員の適正配置による運営及び加算、補助金の確保。

★単年度事業計画

●教育保育計画

- ・子ども一人一人の安心安全を土台に(安全)、環境との関わりを通しての主体的な活動を尊重し(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)。
- ・異年齢交流をいっそう促進し、活動の幅を広げるとともに、年上児へのあこがれや年下児への思いやりなどを育む。
- ・スマイル農園での活動を通して、自然の移り変わりや収穫の喜び、人との触れ合いなど、様々な感動を十分に得られるようにする。

●食育計画

- ・スマイル農園での栽培や収穫、食材に触れる体験などを通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを持ち、豊かな心と体を育てる。
- ・年齢に応じた食事のマナーを身につける。
- ・地元で採れた野菜の提供等、地産地消を推進する。

●保健衛生計画

- ・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
- ・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
- ・感染症等の予防に努め、子どもたちへの指導や家庭への積極的な情報発信による協力の呼びかけ等を行う。

●子育て支援計画

- ・保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、子どもと保護者のニーズに応えた多様な事業・活動を展開する。(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、一時預かり事業、保育参加等)
- ・地域の子育て支援センターとして、(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進(きらきらぼし)の他、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供などを通して保護者及び地域が有している子育ての力の向上を支援する。

●小学校との連携・接続

- ・学校見学、交流会(1年生)、連絡会、園長・小学校長や職員の相互参観や意見交換、その他により積極的に連携を図るとともに、幼児教育への理解を促進する。
- ・小学校教諭の保育見学や「10の姿」を中心とした話し合いにより、幼児教育への関心と理解につなげる。

●地域との連携

- ・地域の方々との交流活動の充実及び地域文化の継承。(蓮代寺太鼓・がめつき音頭他)
- ・情報誌を作成・配布し、園の取り組みを積極的に発信する。
- ・スマイルサポート(買い物バスの運行)による支援、スマイル農園の活用による高齢者等との交流。
- ・災害時における地元町内との協力体制。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等Ⅰ、副園長・教頭配置、学級編成調整、3歳児配置改善、満3歳児対応加配(未定)、チーム保育加算、通園送迎、給食実施、講師配置
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	療育支援、事務職員配置、処遇改善等Ⅱ/Ⅲ、冷暖房費
	未実施	除雪費、降灰除去費、栄養管理
	3月事業報告	施設関係者評価、高齢者活躍促進、施設機能強化推進、小学校接続

●特別保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	1名配置
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独保育事業等実施予定

元気っ子こまつ	91,000円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	129,000円/年	前年実績
住居支援事業	282,000円/年	実施

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	85
				2	6	5	13	
2号				11	11	11	33	75
				14	11	7	32	
3号	10	12	15				37	(88.2%) 対前年 ▲6
	4	9	17				30	

大和こども園分園「やざき乳児保育園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・豊かな感性をもった子ども
- ・心やさしく思いやりのある子ども

●施設整備計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画					

●人事計画目標

- ・職員研修規程の積極的運用により資質向上を図る。
- ・キャリアアップ研修の計画的受講等により、職員一人一人のキャリアの構築を目指す。
- ・園内研修及びカンファレンスを通して専門性を高める。
- ・幼稚園教諭免許取得、保育士資格取得の推進。

●収支計画目標

- ・園児数の確保と適切な予算の執行に努め、収支の安定を図る。

★単年度事業計画

●保育計画

- ・健康で安全な環境を整えて子どもの様々な欲求を満たし、子ども一人一人が安心して過ごせるようにする。
- ・家庭的な雰囲気の中で一人一人の子どもとの温かいふれあいを大切に、心地よく過ごせるようにする。
- ・身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、様々な体験を通して、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培う。
- ・受容的、応答的な関わりの中で愛着関係を形成し、人に対する愛情や信頼感、生きる喜びを育む。

●食育計画

- ・家庭と連携しながら個人差に応じて授乳、離乳を進め、健やかな発育、発達を促す。
- ・安定した生活リズムの中で様々な食品や調理形態に慣れ、食べることの喜びを感じられるようにする。
- ・様々な食育活動を通して食に関心をもち、自ら意欲的に食べようとする力を育てる。
- ・地産地消を心がけ、安心、安全な食を提供する。

●保健衛生計画

- ・園児の健康状態や発育及び発達の状態を把握し、園児一人一人の健康の保持及び増進に努める。
- ・園内の衛生環境を整え、疾病や感染症対策を適切に対応していく。

●子育て支援計画

- ・子どもの利益を最優先するとともに、保護者の自己決定を尊重し、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。
- ・地域の子育て家庭への支援を行っていく。(交流の場の提供、育児相談や情報提供等の援助、離乳食等の栄養相談、子育てに関する育児講座等の実施)

●地域との連携

- ・災害時における地元町内との協力体制の構築。
- ・情報誌を作成し、情報発信を積極的に行っていく。

●加算事業実施予定

加算事業状況		加算事業
加算部分①	実施事業	処遇改善等 I
	未実施	外部監査費
加算部分②	実施事業	処遇改善等 II/III、冷暖房費、栄養管理
	未実施	療育支援、除雪費、降灰除去費、施設関係者評価
	3月事業報告	施設機能強化推進、

●小松市単独保育事業等実施予定

特別保育事業	補助金の有無	実施状況
延長保育促進事業	適用あり	実施なし
病児保育事業(体調不良児)	適用あり	実施
地域子育て支援事業	小松市廃止	実施
一時預かり事業	適用あり	実施
保育体制強化事業	適用あり	職員配置
保育補助者雇上強化事業	適用あり	職員配置
外国児童支援事業	適用なし	在籍なし

●小松市単独事業等実施予定

元気っ子こまつ	55,000 円/年	前年実績
保育環境支援(障害者雇用枠)	50,000 円/月	実施なし
地域公益事業/カブッキーランド協賛支出	16,000 円/年	前年実績
住居支援事業		利用なし

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	合計
	6	9	5	20 対前年 ±0
3号	3	5	3	11 (55%) 対前年 +1

幼保連携型認定こども園「湯野こども園」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ヶ年計画)

●教育保育目標

「心も体も元気な子ども」「感性豊かで意欲ある子ども」

「関わる力と思いやりのある子ども」

●施設整備計画(予算単位：千円)

年度	R6	R7	R8	R9	R10
計画	園舎実施設計 園舎新築工事	園舎新築工事 完成			

<備考>

・園舎の老朽化による移転新築にかかる工事を実施するもの。

●人事計画目標

・処遇改善加算Ⅱの効果的運用による人材育成と組織力向上。
・職員研修規程の積極的運用、キャリアアップ研修の計画的受講等により職員一人一人の資質向上とキャリアの構築。特に有期雇用職員のキャリアアップ研修受講の推進を図る。
・前年度に引続き、新卒・キャリア採用の推進を図る。

●収支計画目標

・職員の適正配置による運営及び、加算・補助金の確保に向け保育補助含む職員の途中採用を積極的に進める。

★単年度事業計画

●教育保育計画

・子ども一人一人が身近な大人へ信頼感を持つ中で自分への自己肯定感といった心の土台(安全)を育み、環境を通して意欲を持って主体的に活動し、試行錯誤を繰り返す中で(自然)、人との関わりを楽しみながら社会性・人間性を育てていく(積善)子ども主体の活動により、学びに向かう力(意欲・好奇心・協調性・粘り強さなど)を育む。
・近隣の環境に積極的に関わって四季折々の自然を思う存分体験し、五感を育てて学びを深める。
・栽培活動を通して、収穫の喜びや自然の移り変わりなど、様々な感動を十分に得られるようにする。
・持続可能な社会作りの担い手として、生活や遊びを通じた身近な体験や活動(ESD)から、SDGsの目標を目指そうとする意識の芽生えを育む。

●食育計画

・生活と遊びの中で、様々な食に関わる体験を重ね、食の大切さや楽しさを知り、豊かな心と体を育てる。
・年齢に応じた食事のマナーを身につける。
・様々な体験を通して、自然の恵みと食に携わる人への感謝の気持ちを育む。

●保健衛生計画

・子どもたちが心身ともに健康で安全に過ごせるよう保健管理(心身面・環境面)を適切に実施していく。
・子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、より健康な生活を送ることができる意欲と実践力を育てる。
・「保育所における感染症対策ガイドライン」にのっとり必要な対策を行う。また、子どもたちへの指導や保護者への積極的な情報提供・発信による注意喚起・協力依頼を行う。

●子育て支援計画

・保護者との相互理解のもと、子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を支援する。
・地域の関係機関等と連携及び協働し園の支援体制の構築に努める。
・子どもと保護者のニーズに応えた多様な事業・活動の展開(体調不良児対応型、預かり保育、障害児保育、保育参加等)
・地域の子育て支援の機能の充実。(子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て家庭や妊婦の相談と援助、地域の子育て関連情報の提供他)

●小学校との連携

・学校見学、交流会、連絡会等により積極的に連携を図り、協力体制を深める。
・小学校教諭の保育見学や「10の姿」を中心とした話し合い等により、幼児教育への関心と理解、接続につなげる。

●地域との連携

・災害時における地元町内との協力体制の構築。
・地域の方々との交流活動の促進及び地域文化の継承。(九谷焼体験他)
・情報誌を作成・配布し、園の取り組みを積極的に発信していく。
・あいさつデー等による民生児童委員との連携を図る

★定員と入園状況(下段は4月在園予定人数)

定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計
1号				5	5	5	15	205
				3	3	5	11	
2号				28	40	32	100	179
				24	38	31	93	
3号	20	35	35				90	(87.3%)
	3	31	32				66	対前年 +2

放課後児童クラブ「芦城児童クラブ」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ケ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められる体験
- ・共感される体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

- ・優秀な人材の確保と育成。
- ・キャリアに応じた研修の推進、支援員の質の向上を目指す。
- ・放課後支援員認定資格の取得。

●収支計画目標

- ・利用希望児童の受け入れ態勢を整える。
- ・適正な職員の配置による運営及び交付金の確保。

★単年度事業計画

●生活環境を整える

・利用児童数の増加に伴い、受け入れ児童の定員を増やす為、芦城児童クラブ3を開設し、職員の増員と学校の空き教室を利用して、環境整備を行う。

・子どもたちが安心安全に、活動できる場となるよう空間や設備、備品等の配置や構成を工夫する。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

・発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能になるように支援していく。

- ・学年に応じた行事の企画をする。
- ・遊び仲間づくりへの援助をする。
- ・縦割りのグループを作り上級生のリーダー性を育てる。

●コミュニケーション力を高める

- ・一人一人の違いを理解し、豊かに言葉を使って仲間と交わることができるように支援していく。
- ・こどもせんりゅう（表現力）
- ・ふれあいタイム（体を動かしての集団遊び）

●支援員の研鑽、研修

- ・適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上を目指し、自己研鑽に励み、研修に参加する。
- ・施設内研修の充実、事例検討会を開催する。
- ・研修会への参加によりスキルを磨く。

●保護者との連携

- ・子どもに関する情報を家庭と共有することにより、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。
- ・アプリを活用した、お便りやお知らせの配信、連絡のやり取りやアンケートを実施する。
- ・必要に応じ個別での面談を行う。
- ・ホームページで毎月の児童の様子を知らせる。
- ・保護者参加型の行事を行う。

●学校・関係機関との連携

- ・子どもに関する情報を学校と共有し、気になる子どもについては関係機関に相談し、適切な支援を実施する。
- ・学校との情報交換会を行う。（前期・後期）

●地域との連携

- ・地域の方の参加型の行事を行う。
- ・縦割りグループごとに地域のお店でおやつを購入する。
- ・学校周辺のゴミ拾いのボランティアに参加する。

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	芦城児童 クラブ 1	芦城児童 クラブ 2	芦城児童 クラブ 3
・基礎(額)事業	児童数 45	児童数 45	児童数 45
・開設予定日数	年 289 日		
・長時間開設(平日)	7 時間/日超開所/30 分以上		
・長時間開設 (長期休暇)	長期休暇中 8 時間以降開所/11.5 時間開所 (+3.5 時間)		
・障がい児受入促進 (国・県)	1 名	1 名	1 名
・支援員等処遇改善	18 時 30 分以降開所と処遇改善実施		
・障がい児受入 強化推進	1 名以上 受入なし	1 名以上 受入なし	1 名以上 受入なし
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所		
・キャリアアップ処遇改善	2 名	2 名	2 名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	芦城児童 クラブ 1	芦城児童 クラブ 2	芦城児童 クラブ 3
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2 名以降		
	1 名	1 名	1 名
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所		

★定員と入所予定状況 (1/20 現在)

定員等	芦城児童 クラブ 1	芦城児童 クラブ 2	芦城児童 クラブ 3
学年	定員 45 名	定員 45 名	定員 45 名
1 年生	20	20	10
2 年生	15	15	10
3 年生	15	15	10
4 年生	10	10	10
5 年生	5	5	5
6 年生	0	0	0
計	65	65	45

放課後児童クラブ「蓮代寺児童クラブ」

令和7年度事業計画

★中長期計画(5ケ年計画)

●保育方針

「子どもたちの自己肯定感を育む」

- ・無条件に愛される体験
- ・褒められるという体験
- ・共感してもらえる体験
- ・感謝される体験
- ・達成感を得られる体験

●人事計画目標

- ・経験年数やそれぞれの役割等キャリアに応じた研修を推進し、支援員の質の向上や児童クラブの運営の向上に向けて、人材育成を図る。

★単年度事業計画

- ・保護者との信頼関係の構築
- ・学校との連携を積極的に図る

●生活環境を整える

子どもが安心して過ごせる生活の場として、ふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら、子どもが自ら危険を回避できるように支援していく。

●児童の自主性、社会性、創造性を育む

子どもの発達段階に応じて主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全育成を図るよう支援する。

- ・子どもたちが主となる行事の計画
- ・季節に応じた工作や行事の計画
- ・遊び仲間づくりへの援助

●コミュニケーション力を高める

子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助する。

- ・読み聞かせ（表現力・読む力・聞く力）

●支援員の研鑽、研修

適切な支援を行うために支援員、補助員は資質の向上をめざし、自己研鑽に励み、積極的に研修に参加する。

- ・毎日の打合せでこどもに関する情報の共有
- ・施設内研修の充実、事例検討会の開催
- ・研修会への参加によりスキルを磨く

●保護者との連携

常に保護者と密接な連携をとり、放課後児童クラブにおける子どもの様子を日常的に保護者に伝え、子どもに関する情報を家庭と共有することにより、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるよう支援する。

- ・お迎え時の声掛け
- ・お便りの発行
- ・ホームページ、コドモンの活用
- ・アンケートの実施

●学校・関係機関との連携

子どもの生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の情報交換によって子ども理解を深める。

- ・学校と年2回以上の情報交換会を行う
- ・災害等の安全管理に関する情報連携

●事業実施予定(国庫事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・基礎(額)事業	児童数 25 名
・開設予定日数	289 日
・長時間開設(平日)	7 時間/日超開所/30 分以上
・長時間開設(長期休暇)	長期休暇中 8 時間以降開所/11.5 時間開所 (+3.5 時間)
・障がい児受入促進(国・県)	2 名
・支援員等処遇改善	18 時 30 分以降開所と処遇改善実施
・障がい児受入強化推進	3 名以上受入なし
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所
・キャリアアップ処遇改善	3 名

●事業実施予定(県単事業)

実施事業	蓮代寺児童クラブ
・指導員複数配置促進 (障がい児受入促進)	障がい児 2 名以降 1 名
・開所時間延長促進	12 時 00 分～19 時開所

★定員と入所予定状況 (1/31 現在)

学年	定員等	蓮代寺児童クラブ
		定員 25 名
1 年生		10
2 年生		10
3 年生		5
4 年生		1
5 年生		0
6 年生		0
計		26

中高年齢者生涯学習講座「大和ぬくもり大学」

令和7年度事業計画

●成り立ち

昭和19年6月に大和善隣館が開設され、小松市における福祉と文化・教育の拠点施設として多彩な活動を展開してきた。また、小松市より「小松市中央老人福祉センター」事業を受託し、大和善隣館において管理運営。中高年齢者の健康、就労等の相談、健康増進や教養の向上などの生活福祉の向上に努めていく。

●大和ぬくもり大学の設置

近隣地域における健康な中高年齢層を対象にその生活の向上と改善をはかるため、「であい・ぬくもり・ささえあい」を目標に利用者の生きがい創出を目指して、「大和ぬくもり大学」を設置している。今年度も教養・文化・体育部門にかかわる14講座3クラブを開設する。(令和6年1月現在)。

★中期計画(5ヶ年計画)

●常勤職員1名体制へと変化したことにより、事業の自由性・拡張性は阻害されてきたが、この機会に講座の独立性と講師・受講生の自主性が発揮できる講座・クラブへと転換をはかってきた。

※主催講座の独立、講座→クラブへの変更など

●少子高齢化が進み、就業人口減少が叫ばれる現在、高齢者就業制度が推進され、定年70歳の時代がすぐそこまで迫っている。「大和ぬくもり大学」事業を継続の必要性と、維持できる体制構築を常に検討していく。

●相談コーナーについて

小松市中央老人福祉センター委託事業である中高年齢者の生活福祉相談について、これまで本部機能との共存で社会福祉主事等の配置を実施できたが、単独運営時の相談事業についての質の低下は免れない。昨今の相談件数の減少の中で、当事業の在り方を引き続き検討する。

●新事業展開

・芦城センターの空室状況とのマッチングを考慮しながら、新事業展開(講座、クラブ)を開講する。

●ICT化推進

高齢者の携帯電話→スマートフォンへの以降も進んでおり、モバイルメッセージアプリ「LINE」も普及している。講座利用者に「ぬくもり大学ライングループ」への登録で、講座の開催通知ホームページへのアクセス回数も増加し、情報連絡手段として活用されている。

●大和ぬくもり大学の講座

開設講座	講師名	開講日
料理	江前 恵子	第1.3(金)午前
社交ダンス	関 武弥	毎週(火・木)午後
茶道	大橋 みどり	第2.4(水)午前
俳句	有賀 三枝子	第2(木)午後
歴史	山前 圭祐	第4(木)午後
書道	有賀 虹萌	第1.3(水)午前
詩吟	辻 岳絢	毎週(金)午後
歌謡舞踊	千田 もと子	毎週(火)午前
水彩画	曾我 章	第1.3(火)午前
パソコン	出口 美子	第1.3(金)午前・午後
小さな水彩画	曾我 章	第1.3(木)午後
ぬくもりヨガ	中嶋 美雪	第2.4(金)午後
リズムダンス	水高 敦子	毎週(水)(金)午後 毎週(火)午後
加賀水引	水谷 絹代	第2(火)午前
合唱クラブ	朝岡明美・太田雪江 手取屋範子	第1.3(土)午前
囲碁クラブ		毎週(火)午後
歌謡曲クラブ		毎週(水)午後

本部事務局 令和7年度事業計画

★中長期計画(5ケ年計画)

●法人理念の再確認

「善隣のこころ」

「いつでも どこでも そしてだれにでもわれ等善き隣人たらん」

先人が遺したこの想いを後世に伝えるために、その時代でのこの理念が持つ意味や価値を再考しながら、職員や児童・保護者等利用者に理解してもらえ事業を遂行していく。

●大和善隣館ブランドの浸透と確立

・近年の主要テーマとして大和善隣館ブランドの浸透と確立を1つの大きな軸(柱)として考えてきた。本テーマは今後も引続き追及していきたい。法人の規模は以前に比べ大きくなっているが、まだまだ法人認知度が低いと痛感しているため、如何にして【大和善隣館＝小松市能美市にて認定こども園・学童クラブを運営する法人】であると学生等に即座に認識してもらえる法人になれるか、今後もPRや情報発信を続けていきたい。また、利用者や求職者等から、教育保育施設と言えば、まず最初に『大和善隣館』と選ばれる法人にブランディングしていきたい。

・昨年度、法人創立80周年を迎えた。記念式典及び記念講演を開催し、改めてたくさんの方々々に支えていただき、今の【大和善隣館】があるのだと実感した。記念講演には東京大学名誉教授である「汐見稔幸氏」に登壇いただき、職員一同汐見先生の講演に熱心に耳を傾けていた。本講演を聴き、職員各自が今後の「教育・保育」業務に活かしていくことに期待する。また、能美市にて新たに「湯野こども園」の運営をスタートし、こちらも記念すべき1年となった。令和3年4月1日より「法人名称」及び「法人拠点」も変更し新たな気持ちで船出を迎えたが、この新鮮な想いを常に忘れることなく、先人の功績の上に確かな足跡を残し、大和善隣館として、90周年、そして100周年と胸を張って迎えることが出来るように法人を導いていきたい。

●今後の事業展開

・昨年度は能美市立湯野保育園(現湯野こども園)の民営化を行い、早1年が経過した。昨年12月より新園舎建設(移転新築)工事にも取り掛かり、本年10月には新園舎完成を予定している。民営化から2年目を迎え、まだまだ不慣れな点はあるが、保護者や地域の方々々に大和善隣館が能美市にきて良かったと思っただけのよう引続き事業に邁進する。また、他市の動向についてもこれまで同様引続き意識し、情報収集は行っていきたい。

・芦城児童クラブにおいて、「芦城児童クラブ3」の立ち上げを今年度行う。利用児童数増加に伴い現状の「クラブ1・クラブ2」だけでの運営は厳しく、昨年は職員確保も積極的に行っており、小松市や芦城小学校にも協力いただいたうえ、子どもたちが快適に過ごせるよう環境を整える。

・今後の方針は昨年策定した「法人中期計画(2030年ビジョン)」に沿った事業展開を適宜見直しも行いながら実施していく。以降については、少子化による急速な人口減少と団塊ジュニア世代が高齢者(65歳以上)となることで高齢者人口が最大となる問題「2040年問題」に直面することが想定されるため、子ども・若年層が減少するなかでの人材確保や、事業展開についてもこれらの諸問題を念頭に置き検討していかなければならない。地域の人口・世帯数の減少、地域に応じた福祉ニーズの相違等を考慮し、対応していきたい。

●奨学金貸与事業

・福祉人材育成の応援資金として「奨学金貸与規程」制定、「定款」での公益事業認可を経て事業を開始。

平成29年取組開始以降8年目を迎える。取扱い件数は決して多くはないが、引続き多くの学生に利用していただきたいことから、今後についても奨学金制度の活用を促進すべく、引続きPR活動を行っていききたい。特に企業実習に来てくれる高校生や県内在学生、出身学生への情報提供に注力する。

・奨学金返済補助手当の導入を行う。養成校時に奨学金を利用し、そのまま入職する職員等も多々いることから、日本学生支援機構等から借入をしている奨学金返済を一部補助することによって、毎月の返済額の負担軽減及び早期の返済を目的とし制定。該当者は本手当を活用することによって返済負担を現状より軽くすることが見込まれる。

●職員採用・育成計画について

・令和4年度に動画配信を行うべくYouTubeチャンネルの開設をした。動画を活用し、新卒者や求職者等に向けたPR活動を積極的にを行い、少しでも保育業界に興味を持っていただける方が増えるよう、定期的に配信した。また、求職者向けだけではなく、こどもたちの日常の保育の様子や行事等を配信することによって、保護者の方々にも普段の様子を覗いていただくと共に、こども園のことや法人をより知ってもらう1つのツールとして活用した。引続き情報発信していきたい。

・採用計画において、奨学金制度の活用のほか、法人職員からの紹介制度、「リファラル制度」の活用により、「優秀なキャリア人材」の採用に引続き注力していきたい。

・キャリアパス規程に基づく、キャリアパスフレームの標準化と職員への周知徹底により、職員一人一人が自身のキャリアを長期的に捉えることにより、これが“事業の質”の向上につながるよう仕組みづくりと研鑽を行う。また、キャリアパスにおける「評価シート」に関して、職員がより自己評価を実施し易いよう様式変更を行い、評価を適切にフィードバックできる仕組みに見直した。

●SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)宣言に対する取組

・当法人では令和3年度に小松市、令和6年度より能美市においてSDGs宣言をした。運営上最も該当するであろう6つのゴール(開発目標)に絞り宣言し、宣言だけで満足するのではなく、達成年限である2030年に向け、あらゆる取組を実践していきたい。昨年度は「月津こども園」において防衛省の補助金を活用し、「太陽光発電設備」を設置した。また、やぎき乳児保育園にて電気自動車の導入も行い、CO2排出量削減が見込まれる。SDGsについては、職員1人1人が意識して心掛けることが最も重要ではあるが、何よりこどもたちと一緒に学び、楽しみながら実践することが大切だと感じている。家庭においても親子の会話の中で、何かSDGsに触れるきっかけを作れるよう引続き取組んでいきたい。

●企業認定制度取得について

・当法人では平成29年度に「いしかわ魅力ある福祉職場」の認定を受けた。同制度は人材の育成や安心して長く働くことのできる魅力ある職場づくりに取組んでいる事業所として石川県より認定され公表される制度である。法人として、同制度取得以降、主だった認定制度の取得申請に取組んでいないので、今年度は認定制度の取得をしたいと考えている。よく耳にする「くるみ認定」・「えるぼし認定」等を申請することによって、再度法人内の取組を見直す良いきっかけにもなると思う。また、利用者等に対して、法人の取組を知っていただく機会にもなり、具体的な申請先を検討し、取得に向け取組を進めていきたい。